

シーレックスが果たす社会的責任のご報告

みなさまに信頼される企業であるために

CSRレポート 2006

Corporate Social Responsibility Report 2006



目次	P2
ごあいさつ	P3
新・創業宣言	P4
企業理念・経営理念	
お客様の定義・ミッション・企業価値	
行動基準	
コンプライアンス	P7
シーレックスグループ「倫理綱領」	
コンプライアンスの推進	
啓発・教育活動	
公正な外注取引への取組	
品質保証	P9
品質保証の推進体制	
2005年度の活動	
個人情報保護	
社会性パフォーマンス	P10
安全衛生・健康	
工場の防災体制の確立	
交通安全講習会	
喫煙対策の実施	
セクシュアルハラスメント、 パワーハラスメントの防止	
社会貢献（地域社会との共生）	
環境パフォーマンス	P12
環境保護対策（地球環境との共生）	
環境マネジメントシステムの推進	
システム監査	
環境ビジョン2005年度評価	
エコプロダクト・環境配慮型製品	
廃棄物の再資源化への取り組み	
チーム－6%	
CO2排出量	
エコカーの導入	
エコフラッグ	
グリーン購入	

社会との「協創」を通じて、 より信頼される企業に

わたしたちシーレックスは、事業活動そのものである“ものづくり”を通じて社会に貢献でき、信頼される企業を志して、創業以来「創造」の精神を原点に歩んでまいりました。

今回「CSRレポート」を発行するのあたり、あらためて当社の歴史を振り返ってみますと、これまで幾多の困難に直面してきましたが、今日に至るまで事業の継続発展ができたのは、ひとえにお客様や株主、取引先、地域の皆さまのご支援とご協力、ならびに社員の努力の賜物であったと実感しております。

わたくしたちは、2004年4月に、このように過去から培ってきた伝統と、将来への展望の2つを視野に入れ、シーレックスの精神をあらためて「新・創業宣言」としてまとめました。そして、企業の使命である「顧客満足の実現」が、CSR活動の基本であることを確認いたしました。

CSR推進体制

2005年4月にCSR推進室を新設し、経営会議から職場の会議まで、CSRについて議論し、基本的な理解を深め、行動する年としました。具体的には、法令遵守（コンプライアンス）、企業倫理についての教育の実施と各事業所で社会貢献の活動に取り組んでおります。

シーレックスでは2002年より環境報告書を作成してきましたが、2005年度は当社の社会的責任の取り組みを加え「CSRレポート」としました。また不十分な点があると考えておりますが、現状における等身大の報告として、ご理解いただければ幸いです。

2006年3月

シーレックス株式会社

シーレックス株式会社 新・創業宣言

企業理念



創業者の精神・伝統の原点「創造(クリエイティブ)」

創業以来、シーレックスの歴史はまさに「創造」の連続でした。日本専売公社の煙草値上げシールの全量一括受注から始まり、ラベリングシステムの販売。製版の内製化。一連の業務のコンピュータ化。SPシールの製造及びカタログ販売。多層ラベルの製造販売などなど過去四十数年、シーレックスは業界に先駆け、新しい仕事、新しい市場、新しい需要、新しい商品、新しい仕組み、新しいサービス、新しい価値を「創造」してきました。これからも、未来永劫、シーレックスは「創造」の精神を原点に活動していきます。

経営理念



経営者の哲学・思考

シーレックスは「高い志をもってあらゆることに挑戦する気概に満ち溢れる会社」「変化に柔軟に対応して世の中の半歩先を行く意味でのタイムリーでスピーディーに実行する会社」「他社、他人には絶対に負けない匠をもっている会社」になることを理念としていきます。

お客様の定義: シーレックスのお客様の範囲・定義



シーレックスのお客様はこれまで実際にご注文を頂いている「取引先企業」が全てでした。しかし、企業の社会的責任の範囲が広がってきたことから実際に我々の作り上げたシールラベルを実際に手に取り、見て、読んで、使用される「消費者」の方々まで「お客様」の範囲を拡大することが急務であると考えます。従って、シーレックスの社員には常に「取引先企業」そして「消費者」の方々のことを考えて仕事を進めていくことが求められます。

ミッション: 企業としての存在意義・基本的な使命

お客様に「安心」と「便利」そして「満足」と「悦び」を提供する。

シーレックスがこの世に存在する意義は何なのか？シーレックスがこの世に存在し果たすべき使命は何なのでしょう？それは時代時代に移り変わるお客様の要求に応じたシールラベルを提供することによって、お客様の毎日の生活に「安心」と「便利」を提供することです。また、我々が作り上げたシールラベルの品質、価格、納期などについてお客様に「満足」を提供すること、更にはお客様がシールラベルを見たり、触ったりすることによってお客様の生活に「悦び」を提供すること。それがシーレックスの存在意義であり使命です。

企業価値: お客様に提供する価値の本質を凝縮して一言で表現したもの

ハードとソフトを兼ね備えたシール・ラベルのコンビニエンスストア

シーレックスがお客様に提供するべき価値は何なのか？同業他社ではなくシーレックスをお客様に選んで頂くための価値をどこに求めるのか？それは、ただ単にお客様から頂戴した原稿をもとにシールラベルを印刷加工し、お客様に提供するというだけでなく、ラベリングシステムやプリンタといったハードと、キャンペーンシステムや企画広告といったソフトを、ありとあらゆるシールラベルと一緒に、小ロットから大ロットまで、多くの種類を、短納期で、廉価で、24時間、365日提供することが出来る会社です。シーレックスがお客様に提供する価値を一言で言えば、「ハードとソフトを兼ね備えたシール・ラベルのコンビニエンスストア」です。

行動基準: 社員に対して日常的に期待される行動指針

シーレックスで働く人々が毎日の仕事に取り組む上で常に念頭において行動して欲しい基準

【行動基準 10 か条】

お客様の要望に応え、お客様の問題・課題を解決し、お客様の信頼を勝ち取り、お客様を創造する。

新しいアイデアを常に創造し、実行し、そして社会を変革し、社会に貢献する。

何事にも積極的に挑戦し、困難や競争から逃げず、最後までやり遂げる。

当たり前のこと、基本的なこと、平凡なこと、小さいことの積み重ねを徹底し、確実に、正しく行う。

いつも明るく、元気に、物事をプラス思考し、未来に希望を持ち、未来を創造していく。

ひとりひとりが自立し、仲間とのコミュニケーションを促進し、智恵をだしあい、互いに成長していく。

常に変化に適応し、やる気をもって、スピードをあげて実行する。

健やかな地球市民として、地球環境を常に念頭に置き、地球環境と共生していく。

【環境方針】

常にお客様の品質、価格、納期要求を満たす製品を提供し続ける。

【品質方針】

個人に関する情報の重要性を理解し、安全かつ正確に徹底的に管理、保護する。

【個人情報保護方針】

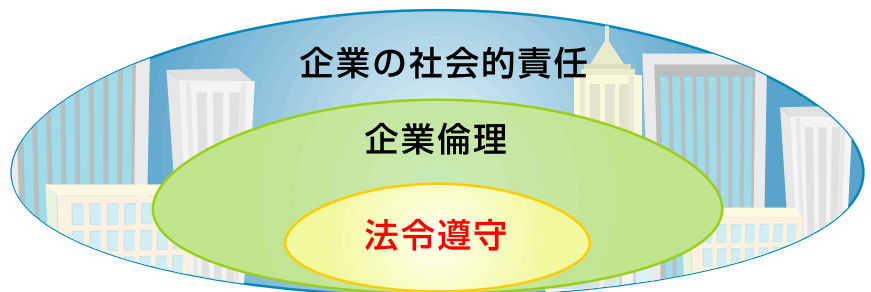
シーレックスグループでは、すべての役員および従業員一人ひとりがコンプライアンスの精神を持ち、社会から信頼される企業を目指して事業活動を進めています。

～社会から信頼される企業を目指して～

シーレックスは、コンプライアンスを単なる法令遵守ではなく、企業倫理や社内規則、規程まで含めた規範の遵守と位置づけています。こうした考えのもと、2005年9月に「シーレックスグループ倫理綱領」を制定し、すべての役員および従業員一人ひとりが自己規律をもって、企業倫理および法令・社内規則・規程・社会規範を遵守して行動していくことを宣言しました。

シーレックスグループ 「倫理綱領」

私たちシーレックスグループは、公正な競争を通じて利潤を追求すると同時に、広く社会にとって有用な存在でなければならない。そのため経営の根幹となるコンプライアンス(倫理・法令の遵守)の基本を、グループで共有し意識し徹底するために、「シーレックスグループ倫理綱領」を定め、コンプライアンスの徹底に取り組めます。



《顧客、取引先、他社、社会との関係》

1. 法令、社内規則、方針の遵守

私たちシーレックスの役員、従業員は、自らの業務に関連する全ての法令、規則及び社内規則、方針を遵守し、また、自らの業務に適用される法令、規則及び社内規則、方針上の要請を確認し、理解することは、シーレックス取締役、役員、従業員の責任です。

2. 消費者・顧客の信頼を獲得する

私たちは、常に顧客の満足が得られる信頼性の高い製品とサービスをタイムリーに提供します。そのために、常に品質の継続的改善に努めます。

3. 取引先、協力会社との信頼構築

私たちは、公明正大、自由な競争のもとに、購入先の選定については合理的な判断を行い、購入先や協力会社とは誠実な取引関係を継続して高い信頼を得られるように努めます。

4. 会社情報・製品情報の保全

私たちは、顧客の情報、製品に係わる情報を適正に管理し、目的以外の使用はしません。

5. 接待、贈答等

私たちは、取引先と健全な関係を築き、社会通念を超える接待、贈答の收受はしません。

6. 広告・宣伝等

私たちは、広告・宣伝等の活動で事実と反する表示・表現や誤解を与えるおそれのある表示・表現は行わないよう努めます。

7. 地域社会との共生

私たちは、良き企業市民としての役割を自覚し、地域社会の活性化に向けてスポーツ・教育振興、自然保護・環境保全、福祉支援等の社会貢献活動を積極的に行ないます。

8. 環境との共生

私たちは、環境保護を尊重し、省エネルギー、省資源、廃棄物削減、化学物質の適正管理など環境保護活動を自主的、積極的に行うとともに環境配慮型商品の開発を行います。

9. 反社会的勢力との対決

私たちは、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体の介入は断固として排除します。またどのような名目であっても、いかなる利益供与も行わず、警察等の関係行政と密接に連携し、協力します。

10. 関係官庁、政治家との関係

私たちは、政治、行政とは透明度の高い健全な関係を構築します。

《従業員との関係》

1 .人権の尊重

私たちは、人権を尊重し、差別的取扱を排除します。また男女共同参画社会の実現に努めます。

2 .プライバシーの保護

私たちは、プライバシーを尊重し、従業員の個人情報の適正な保護に努めます。

3 .ハラスメントの排除

私たちは、いわゆるハラスメント(嫌がらせ)につながる行為を排除し、公正で明るい職場づくりに努めます。

4 .政治・宗教活動の禁止

私たちは、職場において、政治、宗教等の個人的な活動は行いません。

5 .勧誘活動の禁止

私たちは、職場において、個人や特定の団体の利益を図るような勧誘活動は行いません。

6 .会社財産の適正管理・使用

私たちは、会社の財産を私的な目的で使用しません。

7 .健康的な職場環境の維持

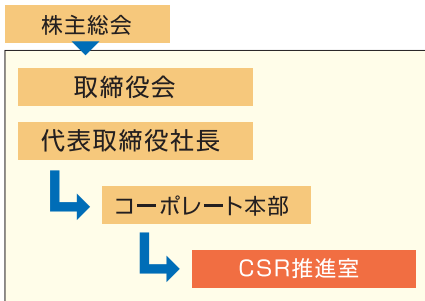
私たちは、健康的で安全で働きやすくかつ生産的な職場環境づくりを推進し、従業員の福祉の充実に努めていきます。

8 .正しい報告

私たちは、事実に基づく正確な記録と報告を行います。

コンプライアンスの推進

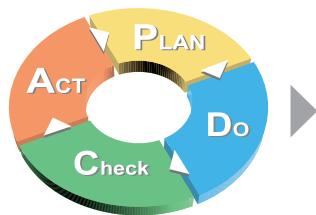
シーレックスでは2005年4月からCSR推進室を設置し、具体的な取り組みを開始しました。CSRは大変幅広い活動ですが、大きく分けて3点に取り組んでいます。



●コンプライアンス推進体制

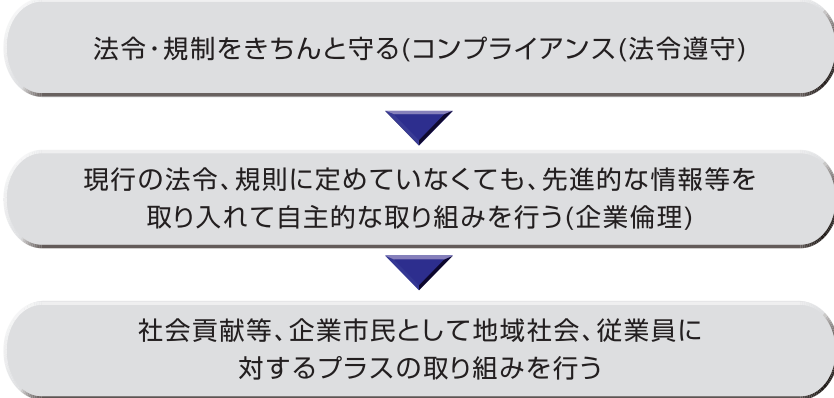
啓発・教育活動

コンプライアンスの推進をより確実にしていくためには、PDCAのサイクルを回して行く必要があります。



確実な
コンプライアンス

当社では2005年度全社的な人材育成プログラムのカリキュラムのなかに、コンプライアンスに関する教育を盛り込み継続的に実施しております。



項目	内容	実施状況	備考
1. 研修	新入社員研修、継続教育、社内研修、外部研修	実施済み	
2. 啓発	社内報、ポスター、パンフレット、ウェブサイト	実施済み	
3. 相談	社内相談窓口、外部相談窓口	実施済み	
4. 報告	社内報告システム、外部報告システム	実施済み	

●シーレックス人材育成プログラム

公正な外注取引への取組

下請法の遵守

お客様の多様なニーズに応えるために、当社は数多くの協力事業者によりご支援をいただいています。

公正な外注取引の実現に向けて、特に下請法の遵守については、個々の外注取引を管理する窓口部門に対して、教育および情報提供を実施しております。

取引基本契約書の取り交わし

当社では、すべての協力事業者の間で「取引基本契約書」を取り交わし、公正かつ透明性の高い外注取引慣行の確保運用に努めています。



品質保証

a guarantee of quality



「お客様へ、つねに最良・最適の品質を提供」をテーマに 妥協のない品質マネジメントシステムを構築

シーレックスは、お客様へ最良・最適の品質をご提供するため、全社的な品質保証体制の強化を推進しています。「品質至上主義」を掲げ、『ISO 9001』2000年版に基づく品質マネジメントシステムを構築。基幹工場となる東北工場・兵庫工場を中心に、広く関連部門をその範囲として審査登録し、顧客満足度及び、品質の向上をめざして、妥協のない品質マネジメントに取り組んでおります。

品質保証の推進体制

お客様の信頼と満足度の更なる向上目的に、2001年12月に「シーレックス品質方針」を策定し、高品質な製品を確実に提供する品質保証体制を整えました。

シーレックス品質方針

シーレックス株式会社は、シール・ラベルの製造において、顧客満足度の向上を目指すために、全員で品質マネジメントシステムを確立し、品質の継続的改善・向上を行う。

2001年12月18日 制定



ISO 9001:2000
登録番号 JSAQ 1406



JAB
QS Accreditation

JISQ9001: , ISO9001:2000を認証

2005年度の活動

2005年度の品質保証活動は品質マネジメントシステム活動がより有効に機能させるために、教育の徹底を行いました。また、2005年度は個人情報（JISQ15001）の教育も同時に行い、教育のテーマは「リスク対策、対応」、事故は「なぜ」起こるのか？事故が起らない様にどうするのか？事故要因発生危険性「リスク」の理解を深め、リスクの正しい認識と評価、また対策改善についてテーマ講義を行いました。

システムの改善では3つの注意点（CSR リスク、顧客要求）をよく踏まえ、改善が継続的に行われなければならないことを教育してきました。

個人情報保護

当社では情報メディアプロバイダーとして、従来から個人情報保護の重要性を認識し個人情報の安全で適切な取り扱いを推進してきましたが、改めてJISQ15001個人情報保護に関するコンプライアンス・プログラムの要求事項に基づくことにより顧客の皆様

安心して個人情報の取扱いが適正であると判断していただけるよう保護管理体制を整備いたしました。今後もプライバシーマーク付与認定を一つのステップとして顧客の皆様への、更なる安心と信頼を礎としたサービスの提供を目指してまいります。



プライバシーマーク

シーレックス個人情報保護方針

基本理念

当社は以下の内容を当社の事業活動の基本であるとともに、社会的責務であると考えます。「個人に関する情報（以下個人情報）の価値を尊重し、常に適切な管理と保護の徹底を図ることにより個人情報を保護すること」

当社は、以下の基本方針の確実な履行に努めます。

基本方針

- 1、当社は、個人情報の保護に関する社内コンプライアンス・プログラムを定め、組織体制を整備し役員及び従業員に徹底します。また、これを定期的に見直し、維持・改訂を行います。
- 2、個人情報を収集させていただく場合は、お客様に対し収集目的を明らかにした同意を得た上で、必要な範囲の個人情報を収集させていただき、目的の範囲内で利用及び提供を致します。
- 3、個人情報に関する個人の権利を尊重し、自己の個人情報に対し、開示、訂正、削除を求められたときは、合理的な期間、妥当な範囲内でこれに応じます。
- 4、取り扱う個人情報を安全かつ正確に管理し、個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、漏洩、改ざんの予防ならびに是正の為、社内規程を整備し、安全対策を実施致します。
- 5、「個人情報の保護に関する法律」、「個人情報保護に関するコンプライアンス・プログラムの要求事項（JISQ 15001）」、その他の個人情報に関する法令その他の規範を遵守し、個人情報の取り扱いについて十分な注意を払います。

2005年4月18日



～働きやすい職場づくり、従業員の安全と健康のために～

災害・事故の防止と従業員の健康増進にあたっては、「決めたことを守り・守らせ」「危ない作業は絶対しない・させない」、不安全行為・不安全作業の撲滅の推進と、「健康診断」の100%受診とケアの実践を基本方針として活動しています。

安全衛生・健康

災害・事故の防止と従業員の健康増進にあたっては、まず「決めたことを守り・守らせ」「危ない作業は絶対しない・させない」不安全行為・不安全作業の撲滅と「健康診断」の100%受診とフォローの実践を基本として活動をしています。

工場の防災体制の確立

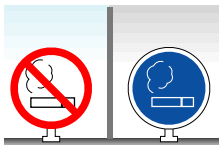
東北工場および兵庫工場において「自分達の工場は自分達で守る」と姿勢で工場の防災体制を確立し、定期的な訓練を行っています。

交通安全講習会

各事業所の所轄警察から交通安全についての講話とビデオによる、「安全運転」についての啓蒙教育を行いました。

喫煙対策の実施

2003年に施行された健康増進法に基づき、各事業所において非喫煙者の受動喫煙を防止するために、分煙の徹底を目指した喫煙対策を推進しています。



セクシュアルハラスメント、パワーハラスメントの防止

セクハラ・パワハラによって従業員の労働意欲が阻害されたり、職場秩序が乱されたりすることがないように、職場環境の維持を目的に2005年度は全従業員を対象にアンケートを実施しました。

実施したアンケートの結果を基に、会社方針の周知徹底およびセクハラ・パワハラに関する意識を高めるために、各事業所で教育を行いました。また、外部に苦情・相談窓口を設置しました。

2005年度は自然災害特に、強度の地震が起こった場合に備え「シーレックスサバイバルカード」を作成し、従業員に携帯することを義務づけました。

第一撃から生き残るための サバイバルカード



サバイバルカードの内容は

- 1.地震発生時初期動作 グラツときたら大声で呼びかける
- 2.揺れが治まってから行動 生残ったら仲間や隣人を助ける
- 3.家族との連絡災害用伝言ダイヤルの使い方
- 4.家族避難場所・連絡先
- 5.会社への連絡要領 部下から上長に連絡するまず上司へ電話
- 6.災害発生時にかかり易い電話の順番
- 7.災害発生時の携帯電話について(帰宅困難に備えて)iモード災害伝言板利用方法等について列記しています。

～企業市民としての社会との関わり～

私たちは、良き企業市民として役割を自覚し、地域社会の活性化に向けてスポーツ・教育振興、自然保護・環境保全、福祉支援等の社会貢献活動を積極的に行います。

社会貢献(地域社会との共生)



東京工場

「足立区門掃き支援活動」
東京工場では毎月2回第2第4水曜日に周辺約100m四方を4ブロックに分け、ゴミの収集を行っております



兵庫工場
「クリーン但馬5万人大作戦」
兵庫県但馬3市14町で行
われた「クリーン但馬5万人
大作戦」に参加いたしました。
参加者：20名

<http://www.heaa-salon.or.jp/topics/event01.html>



本社
「レクリエーション ソフトボ
ール後のグラウンド周辺・本
社ビル周辺の清掃」



東北工場
「工場近辺道路の清掃活動」
東北工場では毎月1回 第4
水曜日に工場近辺道路の清
掃活動をおこなっております。



大阪支店
「支店近辺道路の清掃活動」
参加者：30名



兵庫工場
「国体リハーサル ハンドボ
ール会場のボランティア活
動」
参加者：6名

環境マネジメント活動

●国際規格ISO14001:2004に基づく環境マネジメントシステムを構築し、グループ全体が共通認識のもと環境保全活動を推進しています

～環境マネジメントシステムの構築～

環境保護対策 (地球環境との共生)

当社は創立時の経営理念である「私たちは常に地球環境を念頭におき行動します」を基に、環境保全活動に全員が取り組み、改善・向上を目的として活動をしてきました。その一環として、1999年4月にISO14001認証を取得し、環境保全活動を経営の重要なテーマとし取り組んでおります。また、2004年度の新・創業宣言に「良き地球市民として、地球環境を常に念頭に置き、これを優先して行動する」ことを社員の行動基準として新たに設定しました。また、2005年度9月からチーム - 6%へ法人として登録し活動しています。



『ISO 14001』『JIS Q 14001』を
全事業所で認証取得



think
environment

環境保護対策社内シンボルマーク

シーレックス環境方針

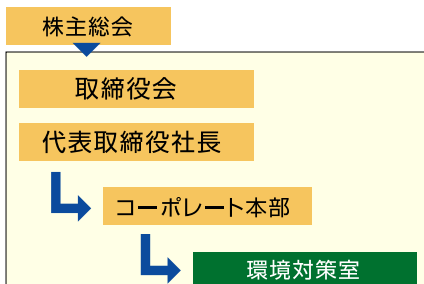
基本理念

シーレックスは常に「かけがえない地球」の環境と資源を健全な状態で次世代へ引き継ぐことは私たちの責任であり、義務である」を念頭におき、環境と調和した循環型社会をめざし、企業活動のあらゆる面で、環境保全に配慮し行動します。

基本方針

1. シーレックスは企業活動において地球環境の保全を推進するため、組織を整備します。
2. 企業活動が環境に与える影響を捉え、技術的、経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、環境保全活動を推進し、継続的改善を図り、環境汚染の予防に努めます。
3. 環境関連の法律、規制および協定などを遵守するとともに、自主管理基準を設定し環境保全に取り組めます。
4. 企業活動の全領域で省エネルギー、省資源、リサイクル、廃棄物削減に取り組めます。
5. 環境に配慮した商品づくりおよび技術開発を行うとともに、グリーン調達を推進を図ります。
6. 環境監査を実施し、環境管理の維持向上に努めます。
7. 環境教育を実施し、全社員の環境方針の理解と、環境に関する意識向上を図ります。

環境マネジメントシステムの 推進

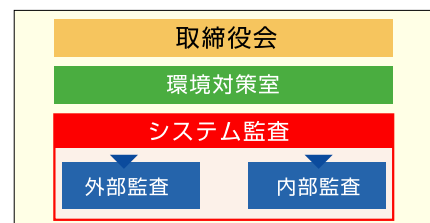


●環境マネジメントシステム推進体制

システム監査

各事業所の環境保全活動の推進と環境マネジメントシステムがISO14001に基づき運営・実施されているかの検証と是正を

図るために、システムを監査する内部監査チームを設けています。各事業所は内部監査と外部機関の審査を定期的に行っています。システム監査はそれらを総合的に検証し、全社的なマネジメントシステムの維持・改善を図るものです。



遵法と目的・目標の達成

●環境マネジメントシステム監査体制

～環境ビジョン2005年度評価～

評価基準: 数値化目標については下記の基準で評価

S: 目標を大幅に上回る成果が上がった A: 目標を十分に達成できた

B: 積極的に取り組んでいるが、目標にいたらなかった C: 取り組みが不十分

(数字評価は2005年6月～12月の実績を基に予測)

それ以外の はできている。×は出来ていない。

方針	目的	目標	評価
法規制の遵守	排水管理を継続的に行う	・定期測定の実施 ・遵法制の評価実施	
	騒音管理を継続的に行う	・定期測定の実施 ・遵法制の評価実施	
	特別管理産業廃棄物の管理を継続的に行う	・定期測定の実施 ・遵法制の評価実施	
	使用禁止物質の購入規制管理を継続的に行う	・遵法制の評価実施	
産業廃棄物の削減、リサイクル化	リサイクル化の推進	・リサイクル率を40%にする ・廃棄物の分別、保管方法の維持推進を行う。	S
	材料在庫を低減する	・材料在庫金額を2003年度比40%削減する	A
	製品在庫を低減する	・製品在庫を2003年度比20%削減する	B
多層ラベルの開発改良及び拡販	多層ラベルの拡販を行う	・拡販活動の実施 ・多層ラベルの販売を拡大する	B
グリーン調達	エコカーの購入を推進する	・全社保有台数の90%をエコカーにする	B
	グリーン購入を推進する	・グリーン購入の実施 ・グリーン購入基準の改善	A
	リサイクル可能剥離紙の使用推進を行う	・再生可能な剥離紙タイプの材料を客先に紹介する ・使用量を2003年度比16%に増やす	B
CO ₂ の削減	電気消費量の削減	・削減の実施および手法改善 ・2003年度比で2%削減する	B
	レスペーパー化の推進	・削減の実施および手法改善 ・2003年度比で2%削減する	A
	ガソリン使用量の削減	・削減の実施および手法改善 ・2003年度比で2%削減する	A

～エコプロダクト・環境配慮型製品～

シーレックスは、企業の社会的責任(CSR)を果たすために、「地球環境との共生」を目的とした環境保全活動に取り組んでいます。再生材料の使用やリサイクル可能ラベルなど、環境への負荷低減に向けた環境配慮型製品をご用意しています。

シーレックスの環境配慮型製品



大豆インキ

石油系溶剤の一部を大豆油に置き換えることにより、揮発時の大気汚染を防ぎ、脱墨性がよく印刷物の再生紙処理が容易になります。環境にやさしい高品質なインキです



生分解性プラスチックフィルムラベル

ラベル素材と糊の両方が植物由来の原料をベースに作られています



再生紙ラベル

ラベルと剥離紙の両方に再生紙を使用しています



全離解可能ラベル

雑誌などに綴じ込んでいても、シール本体だけでなく糊や剥離紙ごと古紙として再生処理できます



再生可能剥離紙

ラベルを使用した後に残る剥離紙を、産業廃棄物ではなく古紙として再生処理することができます



サーマルリサイクル

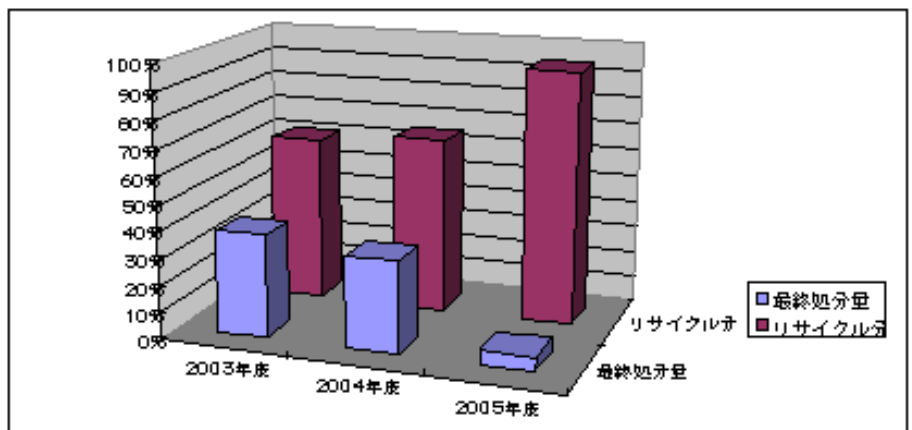
自社工場から出るタックラベルロス紙や剥離紙を固形燃料化し、発電用原料として再利用しています

～省資源・省エネルギーをはじめとする 環境負荷削減に取り組んでいます～

生産活動で資源・エネルギーなどのインプットを減らすことは、CO₂や廃棄物といったアウトプットの抑制につながります。

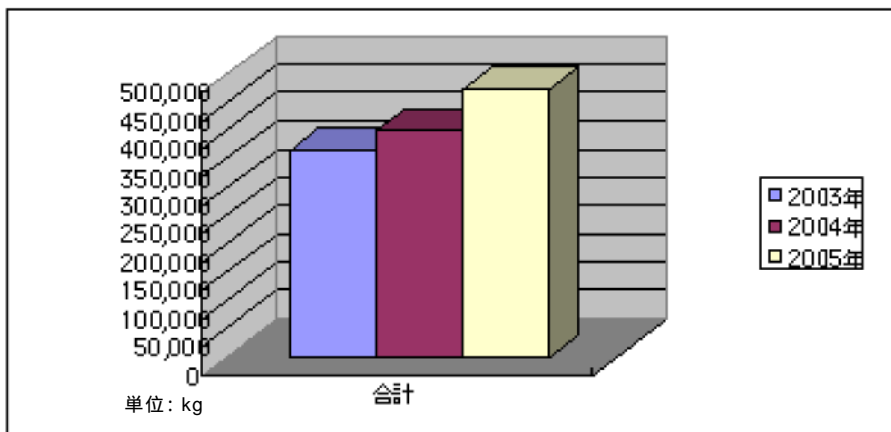
廃棄物の再資源化への取り組み

当社では産業廃棄物の削減とリサイクルの推進を重要なテーマとして取り組んでいます。再資源化率は2003年度62%、2004年度66%、2005年度予測では94%となりました。兵庫工場では再資源化率100%を達成しています。(東北工場・兵庫工場・東京工場)



CO₂ 排出量

工場の生産工程の変化、および設備の増強などで変化しております。2005年度予測では悪化傾向にあり、現状のきめ細かな省エネ対策の徹底を図り、更なる削減に向けて改善活動を継続していきます。(算出対象: 全社 電気、ガソリン等)



エコカーの導入

CO₂ 排出量の削減の一環として、営業車両の削減とエコカーへの切替えを実施しています。2004年度のエコカー比率は49%であったが、2005年度は67%の所有率となっております。所有率100%の早期実現を目指します。



グリーン購入

OA機器関連、事務用品、自動車、制服について、シーレックス グリーン購入基準を設置しグリーン購入を実施しています。

エコフラッグ

スポーツ愛好家は、きれいな水と空気、すなわち地球環境の大切さを知っています。そして、未来世代のためにも、開発やビジネスなどの人間活動が自然生態系を破壊し、環境を汚染しないような新しい社会を創りたいと願っています。そして、そんな強い思いを持った仲間たちが集まって設立したNPOがグローバル・スポーツ・アライアンスです



グローバル・スポーツ・アライアンス
<http://www.gsa.or.jp/>

チーム - 6%

2005年9月からチーム -6%に法人加入し、企業人、社会人として環境保全活動に取り組みを促進するためポスターを作成し配布しました。

STOP!! 地球温暖化 CO₂削減のための6つの気遣い

think environment

- CO₂削減のための気遣い その1**
冷房は28℃、暖房は20℃に設定しよう
 過度なエアコン機器の使用を避けることにより、一世帯の年間CO₂削減効果は約31kgになります。また、電気代は年間約20,000円の節約になります。
- CO₂削減のための気遣い その2**
蛇口はこまめにしめよう
 水道水の送水にはたくさんの電気が使われていますので、必要のない時はこまめに蛇口をしめましょう。一世帯の年間CO₂削減効果は約65kgになります。
- CO₂削減のための気遣い その3**
アイドリングをなくそう
 停車や駐車時のアイドリングを停止することにより、一世帯の年間CO₂削減効果は約39kgになります。
- CO₂削減のための気遣い その4**
エコ製品を選んで買おう
 新たに家電製品を購入する場合「省エネ性能」の製品を選ぶことにより、CO₂の削減、電気代の節約につながります。
- CO₂削減のための気遣い その5**
過剰包装を断ろう
 買い物の際は専用のバックを用いることにより、一世帯の年間CO₂削減効果は約58kgになります。
- CO₂削減のための気遣い その6**
コンセントをこまめに抜こう
 電気製品を使用しない時はコンセントをこまめにぬくことにより、一世帯の年間CO₂削減効果は約87kgになります。また、電気代は年間約6,000円の節約になります。

シーレックス株式会社
<http://www.sealex.com/>

環境保全活動促進用ポスター



シーレックス株式会社 Sealex Corporation
〒111-0052 東京都台東区柳橋1-1-11
<http://www.sealex.com/>

お問い合わせ先

本社人事総務部 TEL.03-3862-7246